

子どもたちは、どうしていたの？

前期の様子？ 鵜沼中学校

生き生きと輝く鵜中生！

コロナ禍 唯一 の学校行事 体育祭！

10月6日、さわやかな秋晴れの下、第73回体育祭を開催しました。コロナ禍の開催ということで感染症予防・蔓延防止対策を講じ、競技内容を絞り半日日程で実施しました。

当日生徒たちは、今年のスローガンである「距離はNO密、思いは濃密」の下、力強く躍動し、仲間たちと一致団結して競技に取り組み、そして互いに応援し合う中で、ブロック、学年、学級の絆をより強くすることができていたと思います。

そして何より、クラスや学年の仲間と一緒に活動する楽しさや嬉しさを感じ、みんな嬉しそうに笑顔で取り組んでいた姿がとても印象的でした。



運動部夏の大会が中止に…

3年生にとって最後の大会となる夏の大会が、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。代わりに7月下旬から8月上旬にかけて

「藤沢市中体連交流戦2020」が競技ごとに開催され、運動部(陸上競技部を除く)3年生の最後の夏を締めくくることとなりました。感染症対策、熱中症対策を講じた中で、これまで頑張っ



て部活動に励んできた3年生の気持ちを汲み取り、部活動の思い出の一つとなることを願って行われました。今回の交流戦では、勝ち負けを超えて共に頑張ってきた仲間とプレーする喜びと試合ができる感謝の気持ちが表情に表れていたのが印象的で、満足な準備や練習はできていなくても、競技ができること、積み上げてきた実力を全て出し切ろうとした姿勢、そして今こうしてここに立っているこの瞬間を楽しもうとする表情に3年生の大きな成長を感じました。

行事の様子は？ 鵜洋小学校

コロナ禍での学校行事

新型コロナウイルス感染症対応による学校行事について（鵜洋小学校の例）



学習の様子は？ 鵜沼小学校

調理実習は禁止!?

新型コロナウイルス感染防止対策により、授業にも様々な制限がかけられました。中でも調理実習を控えることとなり、本来学習すべき内容が「コロナだからできなかった」ということにならないよう、ひとりで調理する実習を試みました。

●実習での工夫

テーマ「自分のぶんは自分で作る！」

《メニューや作業工程の見直し》

- ・「スクランブルエッグと野菜炒め」を「ニラ玉」に変更し、実習の回数を減らす。
- ・発展的な調理は計画立案までを授業で、実践は家庭で。
- ・調理をひとりで行うため、3交代制に。調理場所と試食場所を分ける。



- ・（通常はクラスに1人の職員だが）児童4～6名ごとに職員が付き、調理作業のアドバイスや食材の加熱、食器の洗浄、消毒等について チェックする。



◇家庭科担当教師より

2020年はコロナ禍の中、家庭科の学習では、調理実習が感染リスクの高い活動とされ、どう学習させていくべきか試行錯誤の7か月でした。

そこで、例年のように班で協力した調理ではなく「自分のぶんは自分で作る」ひとりでの調理を計画し、5年生では、青菜のおひたし・ジャガバター、6年生では、ニラ玉・藤沢炒麺をつくる実習を行いました。

すべての工程をひとりで行うため、子どもたちはいつも以上に集中して取り組んでいたようで、単元終了時に「学習したことを活かして、家庭でも作ってみよう」という宿題を出したところ、「最後までひとりでできました！」という、おうちの方からの感想をたくさんいただきました。保護者の方々には、ご家庭での調理を見守っていただくなどのご協力に本当に感謝しています。

コロナ禍の中、苦肉の策として設定した“ひとり調理実習”ですが、制限された状況の中でも子どもたちの学びに繋げることができたのではないかと思います。今回の経験が無駄にせず、今後の学習活動に活かしていきたいと思っています。

